

# 夢を実現するのに 男子も女子も 関係ない

## 地域

みんなで力を合わせて

### フラッグフットボール選手

草津リトルパンサーズ **奥野彩夏さん**・**西田真実さん**



アメリカンフットボールからタックルを除いたフラッグフットボールは、男女が同じチームで対等に楽しめるスポーツです。全国大会での優勝経験もある実力クラブ「草津リトルパンサーズ」では、小学一年から中学生まで約60名のメンバーの四分の一が女子。

チームメイト **林田裕磨さん**の声 女子だから違うことなんて全然ないし、ぼくたちが引っ張られることもいっぱいある。男子も女子もみんな仲良しだよ！



フォーメーションもばっちり！

### 女の子なのに変？ いいえ、全然！ 生徒会長

長浜西中学校三年 **佐藤根真愛さん**



佐藤根さんが生徒会長への立候補を決意したのは、「二年生の始めから生徒会役員として活動した経験を無駄にしたくない。一人でも多くの仲間、学校を楽しい場所と思ってほしい。」との気持ちから。

女性ではまだ数少ない生徒会長就任後、校則の見直しや学校行事の活性化など具体的な目標や活動案を掲げ、着実に成果をあげています。



運動会でも中心になって活動

## 学校

「男だから、女だから」ととられることなく、自分らしさを発揮し、自分の考えで歩きはじめた子どもたち。とって自然体なのが素敵です。  
フレイ フレイ  
コドモたち!!



## 家庭

### 家族の喜ぶ顔がうれしい

### お料理大好き！

草津第二小学校三年生



悠介さんが料理に目覚めたのは、小学校入学直前の春。友達と近所の子ども料理教室体験に行き、すっかりその面白さにはまってしまったのだそうです。それ以来料理教室に通い続け、休日には習った料理を家族にふるまうのが習慣になりました。

自慢のファイルにはレシピがぎっしりで、得意料理は「マヨ・マスタード・チキン」。「お兄ちゃんの作る料理はおいしい」と、その味は妹さんも絶賛。段取りがうまくいかに夕食が遅くなってしまいうこともありますが、そんな時も、家族みんなできあがるのを待つでくれています。「みんなが喜んでくれるのがうれしい」と、今日もマイ包丁で料理の腕をふるう悠介さん。その周りには家族の笑顔が広がります。

**母園子さん、父崇志さんの声**  
たまには失敗もありますが、その度に来ることも増えていくようです。こんな風にひとつひとつ、必要なことを自分で出来るようになっていって欲しいですね。

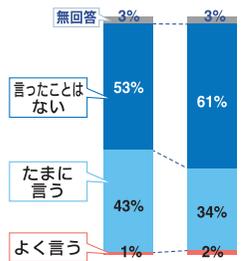


二年生の時自分で作ったパースデーケーキ

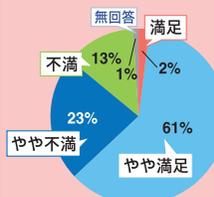
## 本音・ホンネ・ホントね！

子育て世代の男女共同参画に関する意識を、生活の中の身近な切り口を中心に調査しました。

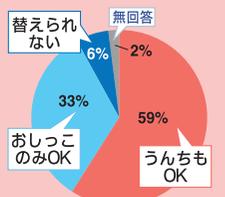
### 子どもに対して「女だから」「男だから」と言ったことはありますか？



### お父さんの育児に対する満足度



### お父さんのおむつ替え実態調査



### 「お父さんの子育て」にヒトコト

●オムツ替えやちょっと子どもの相手をしてだけで、育児をしている、手伝っているとは思わないでほしい。●仕事が忙しく、子どもが眠ってからしか帰って来ないから、育児参加はしたくてもできないのが現状。●頼めばしぶしぶ、しかも自分の都合のいい時間だけしか子育てを手伝ってもらえなかった。●自分の気分に対応する ●見てるだけ など

中学生以下の子どもを持つ母親100人に聞きました。「男女共同参画、ほんとのコト」

「言ったことはない」が過半数を超えています。「言った内容」は女の子には「行儀」、男の子には「性格」が最も多く男女で差がありました。

●調査対象：県内在住で中学生以下の子どもを持つ母親100名 ●調査時期：平成15年9月 ●調査機関：特定非営利活動法人びいめ〜る企画室

この世代の父親はある程度積極的に育児に参加されていますが、妻の側から見るとまだまだ不満点も多く、男性の育児「参加」は進んでいるものの、まだまだ「参画」までには至っていない現状がうかがえます。

## プッシュ！

男女共同参画  
社会づくり  
啓発ドラマ

高校生である主人公、加奈が、部活動で相撲部に入りたと思うことから起こる様々な周囲の反応を中心に、「自分らしく生きる」とは何かを考えるドラマ形式のビデオです。

男女共同参画社会の実現に向け、地域、学校、職場などの場で男女共同参画について考え、話し合うきっかけとして、研修会、学習会、授業などで活用してください。

県立男女共同参画センター、県内の各地域振興局地域振興課、県庁男女共同参画課で貸出を行っています。

